

行財政改革の推進に関する意見交換会の意見要旨

開催日：平成 30 年 1 月 31 日（木）

テーマ 1 新たな行革の取組について

新たな取組項目	意見等
ア 事務事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・各事務事業は費用対効果を検証し、見直しを行う。職員の更なる意識改革も必要になる。 ・行政はコスト意識が不足しているので、一企業として儲ける視点を持って業務にあたるべき。 ・補助事業は終期を設定し、効果や必要性を検証すべき。企業誘致や農林業など、県補助金の上乗せが多い補助事業は見直すべき。 ・窓口業務、上下水道業務、放課後児童クラブ業務は、民間委託すべき。
イ 行政組織の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすい組織機構にすべき。 ・効率性を高め、組織・職員をスリム化すべき。
ウ 公共施設の再配置 (スポーツ施設除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の抵抗はあると思うが、施設の改修費用や維持費の面からも公共施設の統廃合は進めなければならない。 ・多目的利用できるよう活用する。収益性が低い施設は、活用方法を検討する。 ・公民館を再編してコミュニティーセンターとする。 ・自治区制度見直しの議論に合わせ、施設のあり方を考えるべき。地域の特色を活かした施設となるよう、主要施設を各自治区に分散する。
エ 遊休財産の処分	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休施設は、譲渡を含めて積極的に処分すべき。
オ 市民への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・行革実施計画等は、市民に分かりやすい資料を作成して情報提供すべき。 ・「広報はまだ」の頁を減らし、主な内容のみを分かりやすく丁寧に掲載してほしい。 ・ケーブルテレビは一本化すべき。 ・公民館活動は、成功事例を関係者に紹介して活発な活動を促す。 ・ふるさと寄附金の活用方法や運用状況、制度のメリットなどを情報提供してほしい。
カ 公共交通対策 (交通弱者対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・不便に感じている部分やニーズを把握すべき。 ・市営バスには誰も乗っていない。市民を巻き込んで路線バスのあり方や便を見直す必要がある。

テーマ2 スポーツ施設の再配置について

意見の区分	意見等
ア 市の方針決定	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会の答申を踏まえ、早く方向性を示されたい。 ・市の方針を示すに当たっては、利用状況や費用対効果を含めた情報を提供いただきたい。 ・スポーツ振興に関する市の方針を明確にする必要があると考える。
イ 施設再配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)利用状況、(2)更改経費額、(3)近隣の同施設、(4)交通の便、(5)周囲への環境の影響、(6)耐震性、(7)施設保持・維持管理経費、(8)用途変更の可否、(9)危険性、(10)老朽化の視点から分析し、検討が必要と考える。 ・重複した施設の再配置に当たっては、利用頻度や利便性などを考慮して検討されたい。 ・施設の設置経緯を踏まえ、利用頻度に拘らず、自治区ごとの特色を活かした地域活性化に資する施設としても考えていただきたい。 ・県立施設や近隣市町の類似施設を含めて検討が必要と考える。 ・市外の利用者も考慮し、県大会（公式戦）等の開催が可能な施設となるよう、その施設付近に飲食店や小売店の有無を含めた検討が必要と考える。 ・再配置後の移動手段が確保できるよう検討されたい。
ウ 施設廃止後の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止後の施設又は跡地の利活用について住民との話し合いの場を設ける必要があると考える。 ・施設の解体に当たっては、解体費用をできるだけ抑制する必要がある。
エ 利用促進の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用率を高めるため、地元住民や利用団体からアイデアを出していただけるよう話し合いの場を設ける必要があると考える。 ・利用料の低減等を含め、利用促進策を検討されたい。